アクティブ ポジション スイッチ

取扱説明書

この度は本製品をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。
本製品はプリウスのシフトをより積極的に、より能動的に操作しながらドライビングを楽しむために開発した電子パーツです。

ご使用前に本取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用下さい。また、読み終えた後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管して下さい。

～～～　ご使用上の注意　～～～

生じる恐れのある危害や損害の大きさを「警告」・「注意」の２つに分けて明確にしてあります。ご使用の前に必ずよくお読みのうえ正しくお使い下さい。

※本書でいう「使用」とは「取り付け」や「取り扱い」を指します。

警告

下記の警告を無視した取り扱いをすると、事故を誘発したり、火災や感電、故障の原因になるだけでなく、使用者や搭乗者が死亡や重傷を被る可能性があります。その際に生じた損害や損失に対する補償には一切応じられませんので、あらかじめご了承下さい。

- ●本製品は 12 ボルト車専用です。12 ボルト以外には取り付けないで下さい。
- ●本製品を取り付ける事で車両のシフト操作が、レバーからボタンへと変更されます。ボタンでの操作を充分に熟知してから使用して下さい。
- ●本製品は精密機器です。お客様による分解や改造、修理は行わないで下さい。
- ●本製品に水または液体類をひっかけたり、水気のある場所、湿気の多い場所では使用しないで下さい。
- ●配線の断線や傷みの原因となるので、車両の高温部や可動部にハーネスを取り回さないで下さい。
- ●煙や異臭などの異常が見られたら、直ちに使用を中止して下さい。
- ●本製品は真円なので力を入れて回すと回転します。何度も回転させると配線が断線してしまいますので、市販の両面テープで固定してご使用下さい。

注意

下記の注意を無視した取り扱いをすると、使用者が物的損害を被る可能性があります。

- ●本製品にはお買い上げ日より 1 年間の保証が付いていますので、保証書には必ず「販売店名」「お買い上げ日」が記入されているかご確認下さい。無記入の場合、適正な補償が受けられない場合がございますので、ご注意下さい。
- ●本製品を使用中に異常が生じた場合、すぐ純正に戻せるよう、取り外した純正部品は車内に保管して常備しておいて下さい。
- ●取り付けは専門業者に依頼して下さい。業者様は取り付け後、本書を必ず使用者にお渡し願います。また、本製品を他人に譲渡する場合も同様に、本書も一緒にお譲り下さい。

～～～　仕様および動作環境　～～～

●電　　　源：直流（DC）10～16[V]

●耐久周囲温：－20～＋70[℃]

※凍結なきこと　※直射日光に長時間当てないこと

～～～　取り付け方法　～～～

警告　取り付けの際は、必ずバッテリーの端子を外してから作業を行って下さい。バッテリーを外さないままイグニッションスイッチ ON の状態で作業を行った場合、ショートによる火災や故障、想定外の事故などが発生する危険性があります。

注意　ハイブリッドシステムエラーが発生した時は、脱着を行った３つのカプラーがきちんと挿し込まれているか確認して下さい。確実に接続されていれば、しばらくするとエラーは消えます。しばらくしてもエラーが消えない場合は販売店にご相談下さい。

①内装を外すためのヘラと、ラチェットレンチと 12mm ソケットを使用します。

②三角パネルには計６個のツメがあるので、真っ直ぐ上方向に持ち上げます。

③三角パネルの側面にある３カ所の凹み部分を確認します。

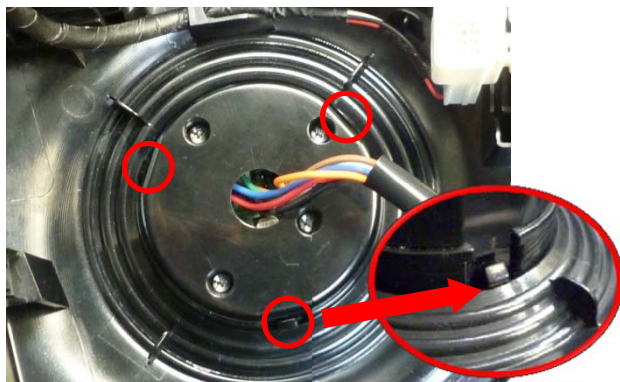
④３カ所の溝にヘラを挿し込み、パネルを少しずつ持ち上げて外します。

⑤三角パネルにつながっている２つのカプラーを外します。

⑥純正シフトレバーを固定しているネジ(3 個)をラチェットレンチで外します。

⑦純正シフトレバーを持ち上げ、左面にある白いカプラーを外します。

⑧三角パネルの上面からアクティブポジションスイッチのハーネスを通します。

⑨アクティブポジションスイッチを押して三角パネルに「パチン」とはめ込みます。

⑩三角パネルを裏返し、３つのツメがしっかりとはまっているかを確認します。

⑪三角パネルから外した２つのカプラーを元通りに接続します。

⑫三角パネルを元通りにハメ込みます。

⑬本製品は真円のため力を入れると回りますので、体格やシートポジションに合った使い勝手の良い向きが定まりましたら、右画像を参考に市販の両面テープで固定してお使い下さい。

■スロットルコントローラーTC バージョンＳとの連動■

TCバージョンS

アクティブポジションスイッチ本体から出ている橙線を、OGS 製スロットルコントローラー『TC バージョン S』と連動させると、オートクルーズ走行中は【底面リング部】が専用パターンで発光するようになります。

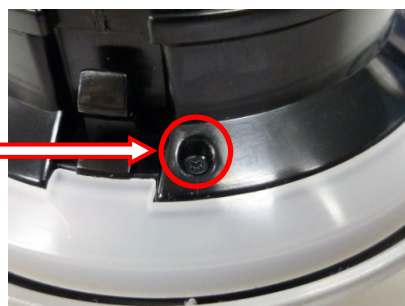
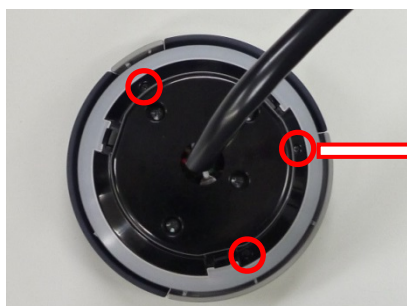
※2015 年 7 月以前に製造された TC バージョン S には、アクティブポジションとの連動用橙線が備わっていないので、ご購入の際は事前に配線の有無をご確認下さい。

■パネルカバーを装着している場合の加工内容■

パネルカバーを装着していると【Ｄ】および【Ｂ】ボタンを押せるクリアランスがなくなってしまう場合があるので、その場合はパネルの円部分（赤○部分）を 0.5～1mm ほどやすり等で削って拡げて下さい。※削り幅はパネルの製造メーカーによって異なりますので、ボタンの動作を確認しながら少しずつ削って下さい。削った所は耐水ペーパーなどで滑らかになるように仕上げて下さい。

■ジャケットカバー交換手順■

カバー部分を取り外しても、内部の基盤が露出しない設計にしてあるので、ご自身でカバーを交換することが可能です。赤〇の付いた３つのネジを外す事でカバーは外れます。ネジ山をツブさなりようにご注意下さい。必ず精密ドライバーをご使用下さい。

オプションカバーの販売時期・価格・色柄は未定です。2015 年 6 月現在

～～～　イルミネーションカラーの変更・設定方法　～～～

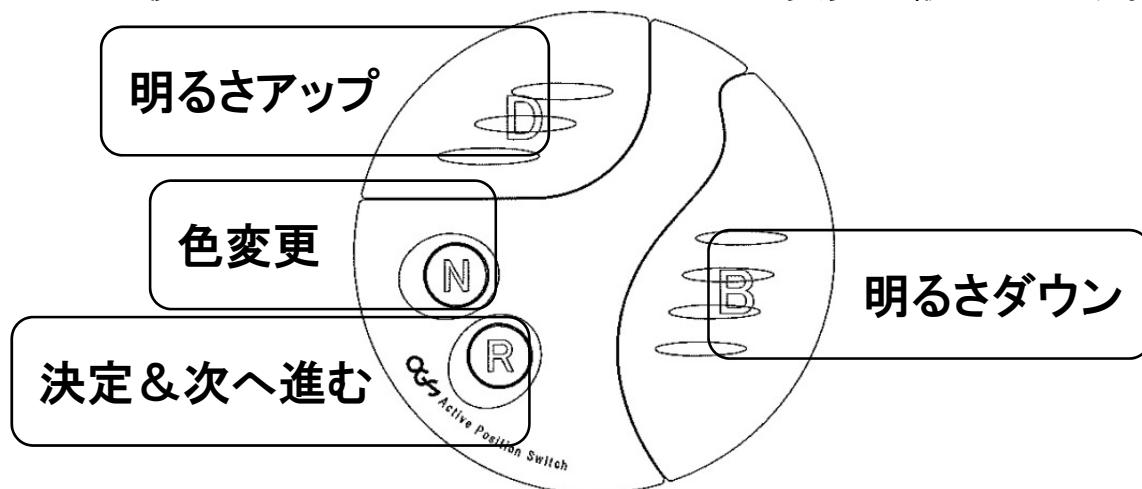
【R】【N】【D】【B】の各ボタンと【底面リング部】は、それぞれ「白」、「水色」、「青」、「紫」、「赤」、「黄」、「緑」の全７色から、お好きな色と明るさに自分で変更・設定ができます。

■設定モードへ入れる

イグニッションＯＦＦの状態でブレーキペダルを踏まずに、本製品の【N】【R】ボタンを押したままプッシュスタートボタンを２回押し、イグニッションＯＮの状態にします。（下のようにメーター内のランプがすべて点灯した状態）

【R】ボタンだけが点灯したら、設定モードに入れている状態です。

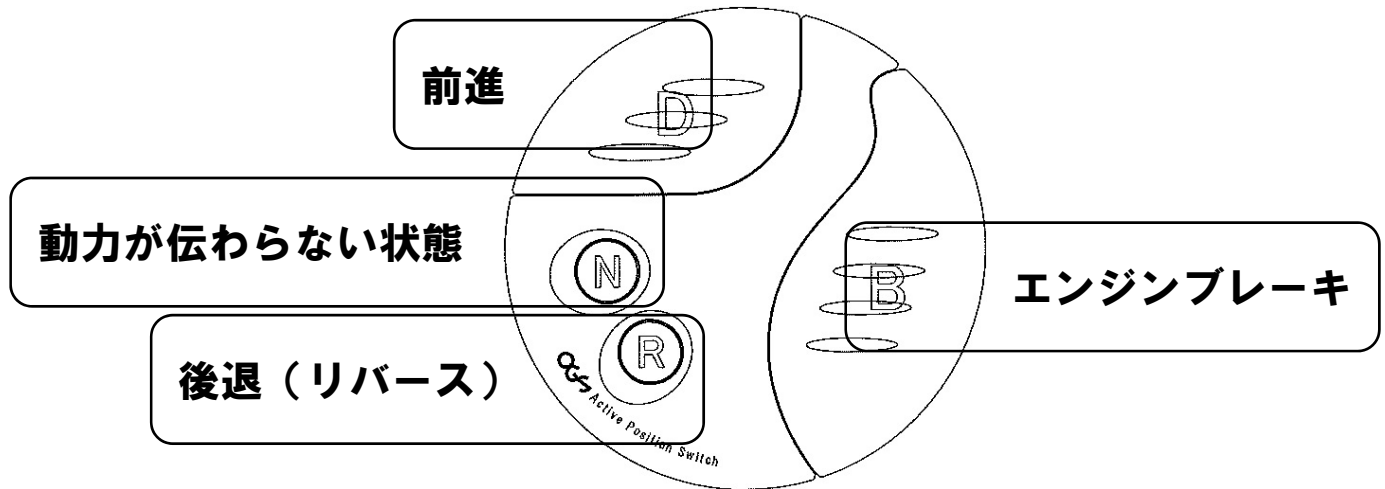
※通常のオープニングモードが始まった場合は設定モードへ入れていないので、再度イグニッションＯＦＦの状態からやり直して下さい。

■各ボタンを使ってイルミネーションカラーを変更・設定します。

■色変更の流れ

【R】ボタンの設定・変更から始まります。【N】でカラーを変更し、【D】と【B】で明るさを変更します。【R】ボタンを押すと今度は【N】ボタンの設定に映ります。【R】→【N】→【D】→【B】→【底面リング部】と順番にカラー設定・変更をしていき、最後に【底面リング部】のカラーを決め、【R】を押すとすべてのボタンの色と明るさが記憶され、通常のオープニングモードが始まり設定モードは自動的に終了となります。

※明るさ調整は全 10 段階で、もっとも暗くすると完全に消灯できます。また、消灯を選ぶと、どのボタンを調整しているのか分からなくなってしまうので、調整中は点滅している状態が「消灯を選択している」という意味です。

～～～　使用方法 ～～～

■各スイッチの動作内容

※各シフトボタンの作動は純正と同じです。
※純正シフトレバーで制限される動作は本製品でも作動しません。

■シフトポジション変更時の制限事項

シフトポジションの切り替えには制限があり、不正な操作をするとブザーが鳴り、下表に示すシフトポジションに自動で変更されます。

行ってしまった操作	選択される シフトポジション
ブレーキペダルを踏まずに【 Ｐ 】レンジから 他のポジションに切り替えようとした	【 Ｐ 】
【 Ｐ 】または【 Ｎ 】から いきなり【 Ｂ 】へ切り替えようとした	そのまま
前進中に【 Ｒ 】に切り替えようとした	【 Ｎ 】
後退中に【 Ｄ 】に切り替えようとした	【 Ｎ 】
【 Ｒ 】からいきなり【 Ｂ 】に切り替えようとした	【 Ｎ 】

警 告 	急発進による事故につながるので、アクセルペダルを踏んだまま【Ｄ】や【Ｒ】を押さないで下さい。また、エンジンブレーキが効かなくなり事故につながるので、走行中は【Ｎ】にしないで下さい。常に車両のメーターでシフトを確認するようにして下さい。